

2001年 4月改訂 (新様式第1版)
1996年 4月改訂

TRADE MARK

SEI
大

日本標準商品分類番号 8 7 2 6 1 9
承認番号 (60AM) 6579
薬価収載 1985年12月
販売開始 1985年12月
再評価結果 1992年 6月

外用殺菌消毒剤

日本薬局方

マーキュロクロム液

「タイセイ」

Mercurochrome Solution
(メルブロミン液)

貯法：遮光した気密容器

500mL

製造発売元
大成薬品工業株式会社
福岡県筑後市熊野998

【禁忌】 (次の患者及び部位には使用しないこと)
1. 本剤又は他の水銀製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 臍帯ヘルニアの小児
3. 粘膜面
4. 口に触れる可能性のある部位 (乳頭等) の消毒

【組成】
マーキュロクロム 2w/v%を含む。
【性状】
暗赤色の液である。
【効能・効果／用法・用量】
・皮膚表面の一般消毒：2%液を症状に応じ1日1～数回患部に適用する。
・創傷・潰瘍の殺菌・消毒：0.2～2%液を症状に応じ1日1～数回患部に適用する。
【使用上の注意】
1. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(その他の副作用)
・ショック：まれにショックを起こすことがある。呼吸困難、血管浮腫 (喉頭浮腫等)、蕁麻疹等のアナフィラキシー様症状を伴うことがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、使用を中止するなど適切な処置を行うこと。
・過敏症 (頻度不明)：発疹、蕁麻疹、そう痒、紅斑、小水疱等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止すること。

【薬効薬理】
マーキュロクロムは水溶液中でHgイオンを解離している。皮膚、粘膜に塗布すると、このイオンが細菌のSH基を有する酵素と結合して、これを不活性化させることにより消毒効果を現す。ぶどう球菌、れんさ球菌、肺炎球菌、淋菌などの細菌に対し静菌作用を現すが、細菌の芽胞 (炭疽菌、破傷風菌など) に対する効果は期待できない。殺菌作用はあまり強くないが、持続性がある。皮膚、粘膜への刺激はほとんどなく、緩和で浸透性はあまり強くない。

長期・広範囲使用：腎障害、骨髄抑制等の水銀中毒 (頻度不明) を起こすことがあるので、長期間又は広範囲に使用しないこと。
2. 適用上の注意
・外用にのみ使用すること。
・眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
・深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
・希釈する水に、アルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類、ヨウ素等が存在する場合、変化することがあるので注意すること。

使用期限

製造番号

4 987297 204662